



平成 29 年 11 月 22 日
海 上 保 安 庁

海上保安庁モバイルコーポレーションチーム初派遣

～フィリピン、ベトナム、マレーシア、インドネシア海上保安職員への日米連携訓練～

海上保安庁は、11月5日(日)～17日(金)までの間、フィリピン沿岸警備隊職員への技術指導のため、本年10月に新設したモバイルコーポレーションチーム(MCT)を初めて海外に派遣し、日本政府から供与した巡視船及び小型高速艇を用いて、操船訓練を実施しました。

また、訓練期間中の16日(木)に、フィリピン訪問中の藺浦総理大臣補佐官が訓練を視察されました。

本訓練では、フィリピン沿岸警備隊職員約40名に対し、日本政府からフィリピン沿岸警備隊へ供与した巡視船及び同小型高速艇を使用し、出入港・旋回・追従等基本操船や被疑船舶を停船させるための挟撃規制等応用操船など、海上法執行に係る各種操船訓練を実施しました。

また、フィリピン沿岸警備隊の研修生のほか、ベトナム・マレーシア・インドネシアの各海上保安機関職員(各国2名ずつ)計6名も研修に参加し、海上保安庁の操船技術を指導しました。さらに、同期間中、アメリカ沿岸警備隊(USCG)2名による機関整備講習も並行して実施し、小型高速艇の運航と保守の両面について、日米が連携協力し指導しました。

16日には、フィリピン側からエスペロン・フィリピン国家安全保障担当大統領顧問及びガルシア・フィリピン沿岸警備隊長官代行御同席の下、藺浦総理大臣補佐官による訓練視察が実施されました。

今後とも海上保安庁では、このような取り組みを通じ、他国海上保安機関との信頼関係の更なる深化を図るとともに、法の支配に基づく「開かれ安定した海洋」の維持・発展に貢献して参ります。



訓練指導時の状況



藺浦補佐官訓練視察の状況

参考:外務省 HP 藺浦健太郎内閣総理大臣補佐官のフィリピン訪問(結果)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea2/ph/page4_003460.html